

ボッチャ、JRR東も協賛 16社に

パラ競技の中で支援企業が急

増しているのがボッチャだ。2

016年リオデジャネイロ・パ

ラリンピックの団体戦銀メダル

で、分け隔てなく誰でも楽しめ

る共生スポーツとして注目を集

めた。4年前は3社にすぎなか

った日本ボッチャ協会のスポン

サーは、今や16社になった。

今月、新たに加わったのがJ

R東日本。福島県白河市にある

同社総合研修センターの体育館

にボッチャコートを作り、代表

の合宿で使ってもらおう。パリア

フリーの宿泊施設も提供する。

東京2020オリンピック・

パラリンピック推進室長の吉田

公さんは「鉄道はもともとお客

様として障害を持つ人との関わ

りが深い。契約は東京大会まで

だが、要望があればその後も前

向きに考えたい」と話す。

学習塾経営の花まる学習会

(さいたま市)は2年前、トッ

プスポンサーになった。高浜正

伸代表は、重度障害を持つ長男

がプレーしたことで競技の魅力

を知る。「健全者と障害者がガ

チで戦える唯一のスポーツ。す

べての小学校にボッチャを広め

たい」。そのためのお価なボー

ルの試作を、知り合いのスポー

ツ用品メーカーに頼むほど、ほ

れ込んでいる。